

CADPAC-CREATOR 3D Ver.10 新機能

64 ビットネイティブ対応

- **CADPAC-CREATOR 3D Ver.10 は、64 bit 版のハードウェア環境に対応**
64bit 版対応により、容量の大きいファイル変換やモデリング作業を行うことができます。64 bit 版 KC はメモリの使用量が大きくなりますが、その分メモリの増量が可能で、より多くのメモリを使用できます。32 bit と 64 bit の KC ライセンスは共通です。

< 64 bit 版 CADPAC-CREATOR 3D が動作する OS >
XP 64bit SP2、Vista 64bit、Windows 7 64bit

< 32 bit 版 CADPAC-CREATOR 3D が動作する OS >
XP SP3、Vista、Windows 7

ファイル/データ変換

- **旧バージョンで作成した ckd ファイルの読込について**

Ver9 以前の ckd ファイルを読み込む時、再多面体化を実行するので、読込に少し時間がかかります。また、Ver8.5 以前の ckd ファイルを読み込む時は、ソリッドの内部表現の一致を確実にするため、「ワイヤーフレーム再表示」を自動的に実行し、さらに読込時間がかかります。

一度 Ver10 で保存した後は、ファイルオープンに時間はかかりません。まれにソリッドの位置ズレが起こることがありますので、読み込み後はモデルおよびレイアウトを再確認して下さい。

- **IGES 変換の改良**

(ファイル>読み込み>IGES、 ファイル>書き出し>IGES)

- ・ PMI データ(Product Manufacturing Information)、寸法タイプ、円柱や球等特定の要素タイプをサポート
- ・ パートリファレンスをアセンブリとして書き出しが可能
- ・ 大きなファイルの読込や書出を改良

- **PDF 書出の改良**

(ファイル>書き出し>PDF)

- ・ 2D, 3D 共に余白の設定が追加 (上、下、左、右)
- ・ 3D は、コメント等の設定が追加、形状曲線をワイヤーとして書き出しの設定が追加

- **Hoops 3DX 読込【新コマンド】** ※ 別ライセンスが必要

(ファイル>読み込み>Hoops 3DX)

- ・ 3D モデルと一緒に PMI データ (Product Manufacturing Information) の読込が可能
- ・ CATIA V5、I-DEAS、JT、NX (Unigraphics)、Solid Edge、Pro/ENGINEER、SolidWorks

- **ルートファイル検索【新コマンド】**

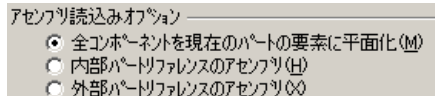
(ファイル>ルートファイル検索)

アセンブリを作成するファイル群を表示します。指示するディレクトリ内にある各アセンブリツリーのルートファイルを検索し、表示のみを行います。

- **共通読込みオプションの「アセンブリ読込み」のデフォルトを変更**

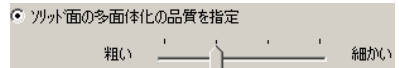
(ファイル>読み込み)

IGES、STEP、Parasolid、SolidWorks、Inventor、CatiaV5、ProE、UG の「共通読込みオプション」のアセンブリ読込みオプションを「全コンポーネントを現在のパートの要素に平面化」に変更しました。



表示

- **ACIS パフォーマンスの改良**
(ファイル>プロパティ>単位系/許容誤差)



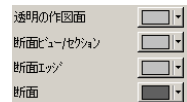
ソリッド面の多面体化の品質を設定するスライダーバーが追加し、旧バージョンより少ないメモリの使用量でより良い結果を提供します。

- **Hoops バージョン 18.1**

- ・表示のパフォーマンスを改良、より速いハイライトを実現
- ・新しい表示オプションを搭載 (ツール>オプション>表示)
データのサイズに応じてより細かく制御することが可能、表示の間引き、グラフィックカードテストなど

- **断面ビューの改良【新コマンド】**
(表示>断面ビュー>断面表示切替え、 表示>断面ビュー>透明断面表示切替え)

- ・断面表示切替え On/Off が追加 【新コマンド】
- ・透明断面表示切替え On/Off が追加 【新コマンド】
- ・Undo/Redo をサポート
- ・断面エッジと断面のカラーオプションを追加 (ファイル>プロパティ>表示カラー)



作図

- **四角柱の基準位置を改良**
(作図>ソリッドプリミティブ)

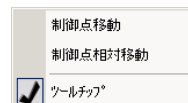
「キー入力」でソリッドプリミティブを作成する際、汎用切替えキーで基準位置を切り替えることが可能です。

汎用切替えキーは、ツール>オプション>位置/選択 のページで設定 (デフォルトでは[@])

形状修正

- **曲線の変形の改良**
(形状修正>曲線の変形)

ダイナハンドルの改良により操作性を向上、ツールチップの表示 ON/OFF 切替を追加しました。



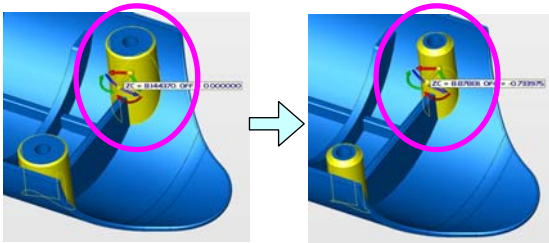
- **ブーリアンの改良**
(形状修正>ブーリアン)

ソリッド要素だけでなく、シート物体も利用可能になりました。

- **ダイナミックフェイス【新コマンド】**
(形状修正>ダイナミックフェイス)

ダイナハンドル (右ボタンメニュー、多彩なオプション) を使って、ソリッドの面をダイナミックに移動します。

- ・ダイナミックな押し出し、引出し操作を可能にした自由設計が可能
- ・編集中に面/フィーチャを追加または削除することが可能
- ・ダイナハンドルをベクトル/平面に整列移動
- ・選択要素をベクトル/平面に整列移動



円柱形状のフィーチャを選択、希望の形状になるまでダイナハンドルをドラッグ、または数値指定

寸法

- **自動ラベルの改良**
(寸法>注記>自動ラベル)

汎用編集で自動ラベルの規格の切替が可能になりました。

- **穴リストの改良**
(寸法>注記>穴リスト)

- ・「第2のソート値」のリストを改良
- ・「明細リスト」の「公差」の欄を削除
- ・表の原点にターゲットを追加する機能を追加
- ・ラベルの配置距離を追加

- **公差変更の改良**
(寸法>寸法要素変更>公差)

新しく入力した値は、プルダウンメニューに記憶されます。

(公差変更のダイアログは、ダイアログを表示したまま変更できるモーダル様式です)

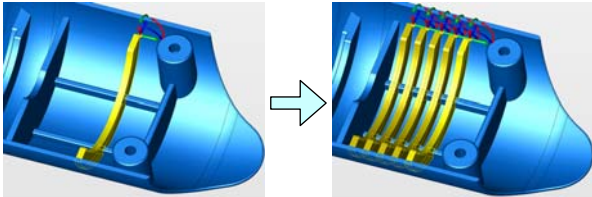
複写移動

- **ダイナミックの改良**
(複写移動>ダイナミック)

ダイナハンドルの改良により、移動ステップ量の設定が可能、また多彩なオプションが追加しました。

- **ダイナミック線形パターン複写【新コマンド】**
(複写移動>ダイナミック線形パターン複写)

改良されたダイナハンドルを使って、等間隔に線形の配列複写をします。個々のダイナハンドルを自由に操作し、複写移動することが可能です。



- **ダイナミックフリー複写【新コマンド】**
(複写移動>ダイナミックフリー複写)

改良されたダイナハンドルを使って、ダイナミックに複写します。

レイアウト

- **レイアウトダイアログの改良**
(レイアウト>レイアウトダイアログ)

- ・用紙枠の表示 ON/OFF を追加
- ・実際のスケールと最適サイズを追加
- ・メインの投影図ビューボタンが鮮明にわかりやすく
- ・付属要素のテキスト高さをスケールリングするオプションが追加

アセンブリ

- **アセンブリツリー読み込み【新コマンド】**
(アセンブリ>アセンブリツリー読み込み)

CKD または外部形式ファイルのアセンブリ構造を検索し、その構造をツリー形式で表示します。

- **連動解除【新コマンド】**
(アセンブリ>移動>連動解除)

リファレンス作成機能で付加した全ての連動を解除します。

- **アセンブリナビゲーション**

パートスプリッタを開き、パートリファレンスのリスト上で右ボタンをクリックすると表示されるメニューに、「ビューポートから検索」「拡大」のオプションが追加しました。

ツール

- **要素確認コマンドでソリッド選択の方法を改良**
(ツール>要素確認)

要素確認において、ソリッドのエッジなどが選ばれてしてしまう場合に、[Shift] キーを押したまま要素を選択すると、ソリッドや曲面を優先的に選びます。

- **要素クリーニング【新コマンド】**
(ツール>メンテナンス>要素クリーニング)

前バージョンのスプラインクリーニングコマンドの差し替えて、要素クリーニングは壊れた要素を持つファイルを見つけ出し、修復します。

- **ボックス要素作成の改良**
(ツール>ボックス要素作成)

シェル要素の選択が可能になりました。

- **部品表 (BOM) の改良**
(ツール>部品表 BOM)

- ・ BOM の対象要素は、アセンブリ、合成要素のほか、ソリッドも可能
- ・ 全ての要素タイプに BOM 自動ラベルが利用可能

- **締結要素、加工要素、鋼材のデータベースファイル形式の変更**

以前は DBF 形式でしたが、CSV 形式に変更しました。
CSV 形式に変更になったことで、一般的な表計算ソフトでファイルの修正、保存が可能になり、要素のカスタマイズが容易になりました。

- **ワッシャ、ナットの基準位置を改良**

(ツール>締結要素>ワッシャ、 ツール>締結要素>ナット)

汎用切替えキーで基準位置（上面／底面）を切り替えることが可能です。

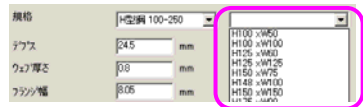
汎用切替えキーは、ツール>オプション>位置/選択 のページで設定（デフォルトでは[@]）

- **鋼材のダイアログに規格リストを追加**

(ツール>鋼材)

鋼材のダイアログに規格リストを追加し、簡易に使えるようになりました。

I-形鋼、T-形鋼、チャンネル、アングル



- **面の材質よりソリッドの材質を優先**

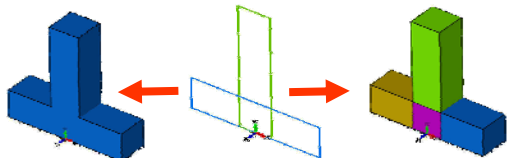
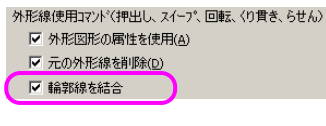
(ツール>オプション>ソリッド)

ソリッドの材質を個別の面の材質よりも優先し、レンダリングします。

- **ソリッド作成で輪郭線の結合オプションを追加**

(ツール>オプション>ソリッド>輪郭線を結合)

押出し、回転、スイープ、らせん、くり貫きコマンドにおいて、複数のループを持つ、閉じた輪郭線を選択した時に、一体化 または 結合するオプションを追加



「輪郭線を結合」にチェックON

「輪郭線を結合」にチェックOFF

- **ツール>オプション のデフォルト設定を変更**

ツール>オプション>表示	「影のぼかし」のバーを「ソリッド」のタブから「表示」のタブへ移動
ツール>オプション>複写移動	「連動組立要素を作成」を OFF に変更
ツール>オプション>位置/選択>選択	「要素選択を作図面に限定する」を OFF に変更
ツール>オプション>機械要素	規格を「JIS」に変更
ツール>オプション>KXL	「maskclear.kxl」を割り込みモード KXL 欄に移動
ツール>オプション>その他	「クイックキー機能を有効にする」を ON に変更

外部変換の対応バージョン

ファイル形式		サポートバージョン	アセンブリファイルの対応
ACIS SAT	読込	1.5 ～ R21 まで	No
	書出		No
CATIA V4	読込	4.1.9 ～ 4.2.4	No
	書出		No
CATIA V5	読込	V5 R2 ～ V5 R20	Yes
	書出	V5 R6 ～ V5 R20	Yes
DWG/DXF	読込	2010 までの全バージョン	No
	書出	R12 ～ R14, 2000/2002, 2004 ～ 2010	No
IGES	読込	5.3 まで	Yes
	書出	5.3	Yes
Autodesk Inventor	読込のみ	Part : 6～11, 2008～ 2011 Assembly : 11, 2008～ 2011	Yes
Parasolid	読込	10.0 ～ 23	Yes
	書出	12.0 ～ 23	Yes
Pro/ ENGINEER	読込のみ	16 ～ 2001, Wildfire 1 ～ 5	Yes
Solidworks	読込のみ	98 ～ 2011	Yes
STEP	読込	AP203, AP214	Yes
	書出		Yes
Unigraphics	読込のみ	11 ～ 18, NX 1～ 7.5	Yes
CADL	書出のみ	ImageModelor まで	該当せず

【その他の注意】

上位バージョンで作成した CADPAC-CREATOR 3D のファイルは、
下位バージョンで開くことはできません。